

(お知らせ)  
(京都府同時)

平成30年12月11日

京都府知事が京都マラソンに初出走！

京都市文化市民局  
(担当：市民スポーツ振興室366-0314)  
京都マラソン実行委員会

## 西脇隆俊京都府知事の「京都マラソン2019」出走が決定

 **今年は6名の応援大使が走ります！** 

平成31年2月17日(日)に開催する「京都マラソン2019」に、西脇隆俊京都府知事が出走されることが決まりましたので、お知らせします。知事就任前に過去2回出走し、完走されている西脇知事におかれましては、ランナーとして京都マラソンを盛り上げていただきます。

また、今大会の応援大使のうち6名の出走が決定しました。一昨年サブ3.5を達成された京都大学 iPS 細胞研究所山中伸弥所長、フルマラソン初挑戦の桧山進次郎さんをはじめとする応援大使、そして京都府知事として初出走される西脇知事に対して、コース沿道からぜひ熱い声援をお願いします。

記

### 【西脇隆俊京都府知事コメント】

今年も京都マラソンが開催されますことを心からお祝い申し上げます。私は、京都マラソンを含め、国内の大会に10回以上出場していますが、歴史と文化に満ちあふれた街並みのコースは京都ならではの魅力であると感じています。知事就任後としては、初めてのマラソンとなりますが、私の地元でもある京都の地で、3回目となる京都マラソンを、皆さんと一緒に楽しみたいと思います。



2015大会写真

過去大会の記録	京都マラソン2012	4時間12分31秒
	京都マラソン2015	4時間11分17秒

### 【出走応援大使一覧について】

#### マラソン

山中 伸弥 さん(京都大学 iPS 細胞研究所所長・教授, 京都市名誉市民)  
原 邦夫 さん(JCHO 京都鞍馬口医療センタースポーツ整形外科センター長)  
桧山 進次郎 さん(元阪神タイガース, 野球・スポーツコメンテーター)

フルマラソン  
初出走！

#### ペア駅伝

島袋 勉 さん(2区)(両足義足のランナー)  
〈応援大使ペア〉  
早狩 実紀 さん(1区)(陸上競技選手)  
山田 幸代 さん(2区)(プロ・ラクロス選手)

出走応援大使を除く8名については、スタート・フィニッシュ会場等で大会を盛り上げていただく予定です。※応援大使については、別紙参照。

## (別紙) 京都マラソン2019応援大使



### 山中伸弥 (京都大学 iPS 細胞研究所所長・教授)

1962 年生まれ。1987 年に神戸大学医学部を卒業。国立大阪病院臨床研修医を経て、大阪市立大学院医学研究科を修了。米国グラッドストーン研究所、奈良先端科学技術大学院大学などで研究を続け、2006 年に世界で初めてマウス iPS 細胞作製成功を発表。続いて 2007 年にヒト iPS 細胞作製成功を発表した。2010 年 4 月に京都大学 iPS 細胞研究所長に就任し、2012 年 12 月ノーベル生理学・医学賞を受賞した。2010 年京都市市民栄誉賞、2013 年京都市名誉市民。京都マラソンには過去 5 回出場し、完走を目標に iPS 細胞研究のための寄付を募った。



### 森脇健児 (タレント)

18 歳の時に芸能界入り。中学校より陸上部に所属し名門洛南高校陸上部に入部。100m11 秒 02 秒を記録しインターハイへも出場している。現在も走ることがライフワークとなっており、月間約 250km 超の距離を走破している。2008 年には東名阪ネット 6 番組「走る男」にて北海道から沖縄まで 2700km を 1 年間で完走。毎年春・秋に開催される TBS「オールスター感謝祭」のミニマラソンには毎回ハードトレーニングを行って参加しており 2017 年春には 14 年ぶり 2 回目の優勝を果たした。また全国各地のマラソン大会にも自身の主催する森脇健児陸上部と共にゲストランナーとして多数出演しており、2013 年には京都府宇治市にて「森脇健児リレーマラソン」を開催。453 チーム、約 3000 名のランナーが参加した。近頃では小学生を対象とした出張かけっこ教室も開校している。なおプライベートにおいても大のラジオ好きで、radiko プレミアムで全国のラジオを聞いており、今でも様々な番組にメールやハガキを投稿している。



### 千葉真子 (スポーツコメンテーター)

京都府宇治市生まれ。立命館宇治高校から旭化成に入社し、1996 年アトランタ五輪 1 万メートルで 5 位入賞、1997 年アテネ世界選手権 1 万メートルでトラック初となる銅メダル、2003 年パリ世界選手権マラソンで銅メダルに輝き、トラック、マラソン両種目のメダルを手にした。現在はマラソン大会のゲストランナーを中心に講演会、メディアなど幅広く活動。また、「千葉真子 BEST SMILE ランニングクラブ」を立ち上げ、市民ランナーの指導や普及活動も積極的に行っている。



### 島袋勉 (両足義足のランナー)

1963 年沖縄県那覇市生まれ。2001 年アメリカの IT 事業視察の帰り、千葉県にて踏切事故により両下腿切断。高次脳機能障害 (記憶障害) を負う。2004 年 11 月両足義足でトリムマラソン 3 キロに初挑戦。2004 年 12 月ホノルルマラソンへ初挑戦。それからバンクーバー・ゴールドコースト・NYシティ・ロンドンマラソン等各地マラソンに出場。「あきらめない習慣」を身に着けるためマラソン、ロードバイク、登山を続けている。

【主な著書】「義足のランナー」(文芸社)「夢をあきらめない」(ごま書房新社)

	<p><b>朝原宣治（大阪ガス株式会社地域活力創造チーム マネジャー）</b>  1972 年生まれ。同志社大学 3 年生の国体 100m で 10 秒 19 の日本記録樹立。大阪ガス株式会社に入社後、1996 年初のアトランタ五輪 100m 出場。日本人選手として準決勝に 28 年ぶりに進出した。オリンピックには 4 回連続出場。世界選手権には 6 回出場し、100m の日本記録を 3 度更新した。自己最高記録は 10 秒 02。2008 年北京五輪 4×100m リレーでは、悲願のメダル獲得。現在は、陸上競技クラブ「NOBY T&amp;F CLUB」の主宰者、一般社団法人アスリートネットワークの副理事長として「スポーツを通じた健康力の高いまちづくり」活動を推進している。京都市健康大使。2010 年度「京都スポーツの殿堂」入り。</p>
	<p><b>奥野史子（スポーツコメンテーター）</b>  京都市生まれ。同志社大学大学院修了。幼少よりシンクロナイズドスイミングを始め、同志社大学在学中の 92 年バルセロナ五輪のソロ、デュエットで銅メダルを獲得。現在はスポーツコメンテーターとしてテレビ、ラジオや講演会で活躍。3 児の母。京都市教育委員。京都市健康大使。2012 年度「京都スポーツの殿堂」入り。</p>
	<p><b>谷口キヨコ（DJ／タレント）</b>  兵庫県出身、現在は京都市在住。大学卒業後、OL 経験を経て、知人の紹介で DJ・タレントへ。キュートなボイスとハイテンショントークで、リスナーに『元気』を届けている。仕事のハードスケジュールの中、向上心・探究心を常に持ち続け、2006 年には韓国延世（ヨンセ）大学に 1 ヶ月の語学留学。2010 年には母校、京都産業大学大学院で国際法を専攻し修了。2018 年 3 月、大谷大学大学院文学研究科哲学専攻を修了。2018 年 4 月、京都産業大学現代社会学部客員教授に就任。現在もラジオ・テレビのレギュラー番組を週 9 本抱え、パワフルに活動中。  【ラジオ】 α-STATION 「CHUMMY TRAIN」「J-AC TOP40」他  【テレビ】 KBS 京都「谷口流々」他</p>
	<p><b>原邦夫（JCHO 京都鞍馬口医療センター スポーツ整形外科センター長）</b>  1955 年京都市生まれ。1981 年京都府立医科大学卒業。現在は、京都鞍馬口医療センター スポーツ整形外科センター長、京都府立医科大学特任教授。フィギュアスケートの高橋大輔氏、マラソンの野口みずき氏、リオ五輪出場の福士加代子選手などトップアスリートの治療を行い、「膝の神様」ともいわれている。ドイツ W 杯で優勝した女子サッカー日本代表（なでしこジャパン）には長年帯同し、チームの一員として国民栄誉賞とともに受賞した。京都サンガ、京都ハンナリーズのチームドクターも務め、選手を陰で支えている。自己ベストは、フル：2 時間 58 分 58 秒、ハーフ：1 時間 19 分 20 秒</p>
	<p><b>早狩実紀（陸上競技選手）</b>  1972 年京都市生まれ。宇治市立榎島中学校時代から陸上を始め、京都府立南八幡高校（現 京都八幡高校）、同志社大学を経て、現在はプロアスリートとして活動中。京都で行なわれる全国女子駅伝には、選手・監督として 27 回出場。女子 3000m 障害の第一人者として、世界陸上出場 5 回、北京五輪日本代表。3000m 障害日本記録保持者。2014 年度「京都スポーツの殿堂」入り。現在アメリカを拠点にトレーニングを行っている。</p>

**本田望結（女優／フィギュアスケーター）**

2004年6月1日京都市生まれ。2015年公開映画「ポプラの秋」で映画初主演。2017年テレビ朝日スペシャルドラマ「探偵少女アリサの事件簿」でドラマ初主演。現在はレギュラー番組として、関西テレビ「コヤぶるッ！SPORTS」、WOWOW「バレエ☆プルミエール」で司会を務める。フィギュアスケートでは2017年12月の第40回京都府民総合体育大会スケート競技会ジュニア幼年にて優勝。

**桧山進次郎（元阪神タイガース／野球・スポーツコメンテーター）**

1969年7月1日生まれ。京都市出身。1991年ドラフト4位で阪神タイガースに入団。2001年から3年間選手会長に就任し、18年ぶりのリーグ優勝へチームを導く。日本シリーズでも4番として出場し、優秀選手賞を受賞。2008年頃から「代打の神様」と称されるようになり、2013年10月クライマックスシリーズで放った代打2ランホームランを現役最後に、ファンに惜しまれながらも引退した。現在は野球解説者・スポーツコメンテーターとして活躍。2014年度「京都スポーツの殿堂」入り。

【主な著書】『生え抜き タイガースから教わったこと』『代打の哲学』『待つ心、瞬間の力』『強い！強い！阪神タイガース』

【テレビ】「おはよう朝日です 木曜日」「教えて！ニュースライブ 正義のミカタ」「キャスト」

【ラジオ】「サクサク土曜日 中邨雄二です」「ガチ虎」

**山田幸代（プロ・ラクロス選手）**

1982年滋賀県生まれ。京都産業大学入学後にラクロスを始め、2005年に日本代表としてW杯出場。2007年に日本人初のプロ選手となり、翌年からオーストラリアに活動の場を移す。2012年、世界選抜18人に選出。2014年、オーストラリアリーグシーズン最優秀選手。京都産業大学創立50周年広報大使を経て、2016年から「神山STYLE 広報大使」に就任。同年、日本人として初めてラクロスの強豪国であるオーストラリア代表選手に選ばれ、2017年ラクロスW杯にオーストラリア代表として出場。その後、第10回ワールドゲームズに出場し、日本人選手として初となる世界大会での銅メダルを獲得。

**伊藤舞（大塚製薬陸上競技部）**

1984年5月23日奈良県生まれ。京都橘高校時代から本格的に陸上競技を始め、京都産業大学、デンソーを経て2009年に大塚製薬に入社し現在に至る。2011年世界陸上大邱（テグ・韓国）、2015年世界陸上北京大会女子マラソン代表。2大会ぶりの代表となった北京大会では前回大会（22位）の経験を生かして見事7位に入賞を果たし、リオ五輪の日本代表にいち早く内定した。2016年8月開催のリオ五輪女子マラソンに日本代表として出場。

**今大会  
新たに就任！**

**中村静香（女優／タレント）**

1988年9月9日生まれ。京都府宇治市出身。2003年に出場した「第9回全日本国民的美少女コンテスト」をきっかけに芸能界に入る。ドラマ、バラエティー、映画、舞台と活動は多岐にわたり、女優としてますますの活躍を期待されている。

主な作品はテレビ朝日系「法医学教室の事件ファイル」、TBS系「警視庁岡部班」、CX系「スカッとジャパン」など。

また、最新42枚目のDVD「ボクの初恋」が発売中である。